

全国大会での健闘誓う

下松ジュニアソフトテニスクラブ 4人が市長訪問

第二十五回全日本小学生「県代表として出場する下松ソフトテニス選手権大会」にジュニアソフトテニスクラブ



井川市長に全日本小学生ソフトテニス選手権大会への出場を報告する(右から)広中君、上田君、斉藤さん、明野さん

ブ(原田正剛会長)の選手四人が二十四日、下松市役所で井川成正市長に健闘を誓った。

訪れたのは、下松小六年の広中涼吾君(一)と上田晃平君(三)、同小六年の斉藤ひなのさん(一)と中村小六年の明野未季さん(一)のペア二組。八月七日から十日まで熊本県で開かれる同大会にダブルスで出場する。

女子二位に入り、同大会の出場を決めた。同大会は小学生のソフトテニスの全国大会としては最大規模で、四人とも初出場。原田会長(六)と水本隆行監督(四)と市役所に訪れた四人は「出場する最後のチャンスなので全力を出したい」「思い切って試合をしたい」などと抱負を語った。

五月に宇部市であった県予選会で、広中・上田組は男子三位、斉藤・明野組は